

# ひまわりについてのせつ明文を読もう①

<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	組	<input type="text"/>	番名前	<input type="text"/>
----------------------	---	----------------------	---	----------------------	-----	----------------------

◇ 左の文しよは、さくらさんが夏休みの研究けんきゆうのさん考にするために読んだ、せつ明文の一部いちぶです。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

1 ヒマワリをそだてたり、たねをとったりしたけいけんのある人も多いことでしょう。ヒマワリはたくさんの人にあいされている、夏をだいひようする花です。みなさんのよく知っているこのヒマワリには、じつはいろいろなひみつがあります。ここでは、ヒマワリの三つのひみつについてしよかいしていきます。

2 一つ目は、花についてのひみつです。ヒマワリのあの大きな花は、一つの花に見えます。① 本当は、たくさんたくさんの小さな花があつまってきたのです。ヒマワリの花は、外がわにある、黄色い舌したのような形をした花と、内がわにある、つつのような形をした小さな花とできています。外がわの、舌したのような形の花は、虫たちを引きつけるかざりのやくめをしています。②、内がわにたくさんある、つつのような形の花にはおしべとめしべがあり、たねを作るやくめをしています。この花は、外がわから中心にむかって、じゅん番にさいっていきます。

3 ニつ目は、名前についてのひみつです。ヒマワリの花は、せい長するとき、いつも太ようの方を向いています。ヒマワリという名前は、まるで、太ようをおいにかけてまわっているように見えることからつけられたものだと言われています。太よう（日）をおいにかけてまわる。だから「日まわり」∴「ヒマワリ」∴というわけです。

4 三つ目のひみつは、ヒマワリが食べられるということです。ヒマワリのたねをしぼると、たくさんのおぶらがとれます。このおぶらは、ヒマワリあぶらとして、サラダあぶらやおかし用のあぶらとしてつかわれているのです。からをとったたねをいったり、いためたりして食べることもできます。また、たねだけでなく、花びらをサラダにして食べることもあるようです。



一、のまとまりに」「ヒマワリの三つのひみつについてしようかい  
していきます。「と書かれています。」「三つのひみつ」とは何に  
ついてのひみつなのか書きましょう。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )

二、のまとまりにある、に入ることばの組み合わせ  
として、一番よいものはどれですか。一つえらんで、ア〜エの記  
号で答えましょう。

- ア ①しかし ②だから イ ①そして ②しかし  
ウ ①ところが ②そして エ ①だから ②そして

三、さくらさんは、ヒマワリの花についてひょうにまとめてみまし  
た。③④にあてはまることばをひょうの中に書きましょう。

やくめ	形	
虫たちを引きつけるかざり	黄色いしたのような形	外がわにある花
④	③	内がわにある花

四、ヒマワリという名前がつけられたわけを、3のまとまりの中の  
ことばをつかって書きましょう。

( )

五、さくらさんは、ヒマワリが食べられることについて、左のよう  
なメモを書きました。⑤から⑧にあてはまることばを、4のまと  
まりの中のことばをつかって書きましょう。

【さくらさんのメモ】

○ヒマワリは食べられる

たね・・・しぼってとれるあじら( )ヒマワリあじら( )

↓サラダあじらや( )⑤( )としてつかわれる。

からをとり、( )⑥( )して食べる。

( )⑦( )⑧( ) 食べることもある。

<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">⑤</span>		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">⑥</span>	
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">⑦</span>		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">⑧</span>	

# ひまわりについてのせつ明文を読もう① (答え)

一、のまとまりに」「ヒマワリの三つのひみつについてしようかい  
していきます。「と書かれています。」「三つのひみつ」とは何に  
ついてのひみつなのか書きましょう。

( 花 ) ( ) ( 名前 ) ( ) (ヒマワリが) (食べられること)

二、のまとまりにある 、に入ることばの組み合わせ

として、一番よいものはどれですか。一つえらんで、ア、エの記  
ごうで答えましょう。

ア ①しかし ②だから イ ①そして ②しかし

ウ ①ところが ②そして エ ①だから ②そして

ウ

三、さくらさんは、ヒマワリの花についてひょうにまとめてみまし  
た。③④にあてはまることばをひょうの中に書きましょう。

	外がわにある花	内がわにある花
形	黄色いしたのような形	③つつのような形
やくめ	虫たちを引きつけるかざり	④たねを作る

四、ヒマワリという名前がつけられたわけを、3のまとまりの中の  
ことばをつかって書きましょう。

( ) (まるで、 ) 太ようをおいにかけてまわっているように見える (こ  
と) から ( )

五、さくらさんは、ヒマワリが食べられることについて、左のよう  
なメモを書きました。⑤から⑧にあてはまることばを、4のまと  
まりの中のことばをつかって書きましょう。

【さくらさんのメモ】

○ヒマワリは食べられる

たね・・・しぼってとれるあぶら ( ) ヒマワリあぶら ( )

↓ サラダあぶらや ( ) ⑤ ( ) としてつかわれる。

からをとり、 ( ) ⑥ ( ) して食べる。

( ) ⑦ ( ) … ( ) ⑧ ( ) 食べることもある。

⑤	おかし用のあぶら	⑥	いったり、いためたり
⑦	花びら	⑧	サラダにして